



先行する英米国、逆行する日本？

秘密指定だけでなく、「情報の管理・公開」「議会による監視」こそ重要！

一月十四日から十九日まで、英・米国へ、政府（行政）が有する機密情報の管理や情報機関への議会による監視のあり方について調査に赴きました。

M I 6 や C I A など、各国、歴史や制度は異なるものの、安全保障やテロ防止に関する情報の収集や管理には最大限の資源を投入しています。

同時に、英国では「情報保全委員会」、米国では上下両院の「諜報特別委員会」が議会に設置されています。政府・行政の機密情報について共有し、情報機関の業務等についても予算や人事権を有しながら強い権限で監視を行う体制が整備されています。

英國では「合同情報委員会（JIC）」、米国では「国家情報長官室（ODNI）」が政府の機密情報の全体を統括しています。

米国では「国立公文書館（NARA）」の中に「情報保全監督局（ISOO）」「上訴委員会（ISCAP）」「機密解除センター（NDC）」も設置され、機密解除による公開について、政府による機密指定を行政内で（国民と）監視することについて、ルールと体制が整っています。

折しも、訪問中の十七日には、オバマ大統領がプライバシー保護の観点から国による情報収集活動を制限していくための改革を進めることを表明されました。

英国においても同様の観点からの検討が行われている、と。

秘密指定だけを先行させ、監視や公開のルール規定が遅行する日本の法整備に危機感を強くしました。

私たちは、既に、情報公開・公文書管理法改正案や国会法改正を国会に提出しています。合意形成と体制整備にも尽力します。



民主党 議員団

共に頑張ります！
一人の百歩よりも、百人の一歩！



衆議院議員
三日月 大造



参議院議員
林 久美子



滋賀県議会議員
大井 豊



滋賀県議会議員
九里 学



滋賀県議会議員
山本 正



草津市議会議員
大脇 正美



草津市議会議員
西田 操子



草津市議会議員
奥村 恭弘



守山市議会議員
下村 勲



守山市議会議員
國枝 敏孝



守山市議会議員
小川 泰江



栗東市議会議員
中村 昌司



栗東市議会議員
田村 隆光



栗東市議会議員
林 好男



野洲市議会議員
丸山 敬二



野洲市議会議員
山本 剛

